



# 2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年11月4日  
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

# Agenda

- I . 2012年3月期 上期の概況**
- II . 2012年3月期の見通し
- III . 参考データ

# 2012年3月期 上期 連結売上高・損益

単位: 億円	11年3月期 上期実績	前回予想 (8/10)	12年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	3,980	4,750	4,863	+883	+113
営業利益 売上高比	152 3.8 %	460 9.7 %	612 12.6 %	+460	+152
経常利益 売上高比	178 4.5 %	480 10.1 %	652 13.4 %	+474	+172
当期純利益 売上高比	106 2.7 %	360 7.6 %	504 10.4 %	+398	+144
FCF	649	—	54	▲595	—
為替 ドル	89円	81円	80円	売上高への影響 ▲226   ▲41	
ユーロ	114円	114円	114円	営業利益への影響 ▲51   ▲2	

精機・映像ともに大幅な増収・増益。円高を吸収し、全社では22%増収・大幅増益

\*スライドで使用している数値はすべて億円未満は四捨五入してあります。 前回予想とは2011年8月10日発表における予想です。

# 2012年3月期 第2四半期 連結売上高・損益

株式会社ニコン  
広報・IR部



単位：億円	11年3月期 第2四半期実績	前回予想 (8/10)	12年3月期 第2四半期実績	前第2四半期 実績比	前回 予想比
売上高	1,928	2,294	2,407	+479	+113
営業利益 売上高比	39 2.0 %	91 4.0 %	243 10.1 %	+204	+152
経常利益 売上高比	51 2.6 %	102 4.4 %	274 11.4 %	+223	+172
当期純利益 売上高比	25 1.3 %	53 2.3 %	197 8.2 %	+172	+144
為替 ドル	86円	80円	78円	売上高への影響 ▲100   ▲41	
ユーロ	111円	110円	110円	営業利益への影響 ▲7   ▲2	

対米ドルで円高が進行したが、約25%増収、営業利益は約6倍

\* スライドで使用している数値はすべて億円未満は四捨五入してあります。

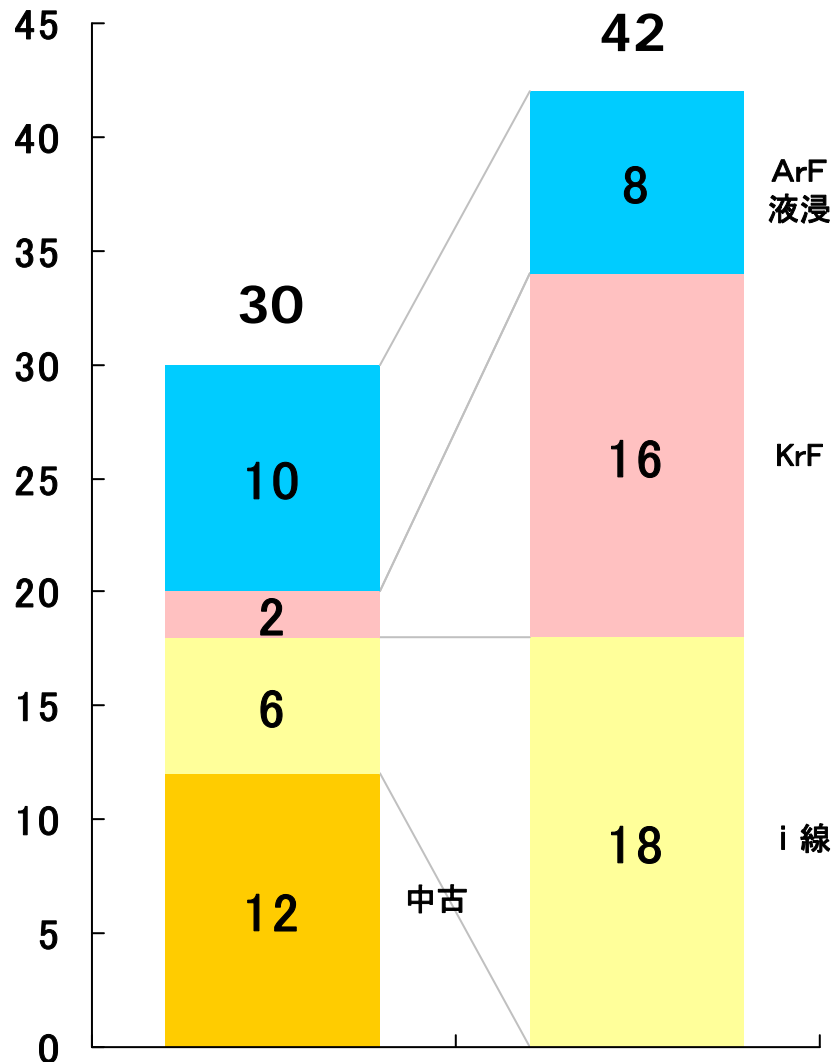
# 2012年3月期 上期 精機カンパニー

単位: 億円	11年3月期 上期実績	前回予想 (8/10)	12年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	807	1,300	1,248	+441	▲52
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	▲47 (▲20) - % ( - %)	170 13.1 %	233 18.7 %	+253	+63
半導体露光装置 新品/中古	18/12台	25/13台	26/16台	+8/+4	+1/+3
液晶露光装置	23台	48台	48台	+25	-

前上期比55%増収。営業利益は、黒字化を達成したのみならず過去最高に並ぶ水準。前回予想比では、半導体露光装置のコストダウン進展などにより上振れ

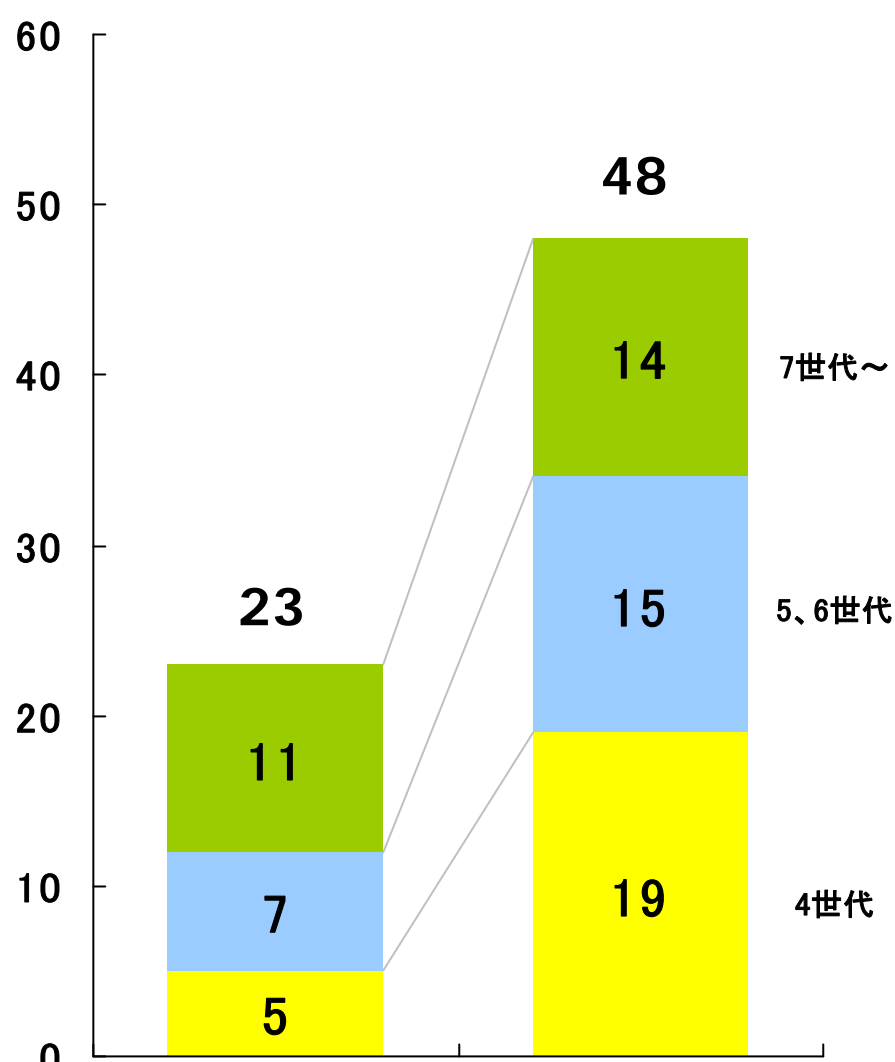
## 半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



11年3月期上期実績 12年3月期上期実績

単位:台



11年3月期上期実績 12年3月期上期実績

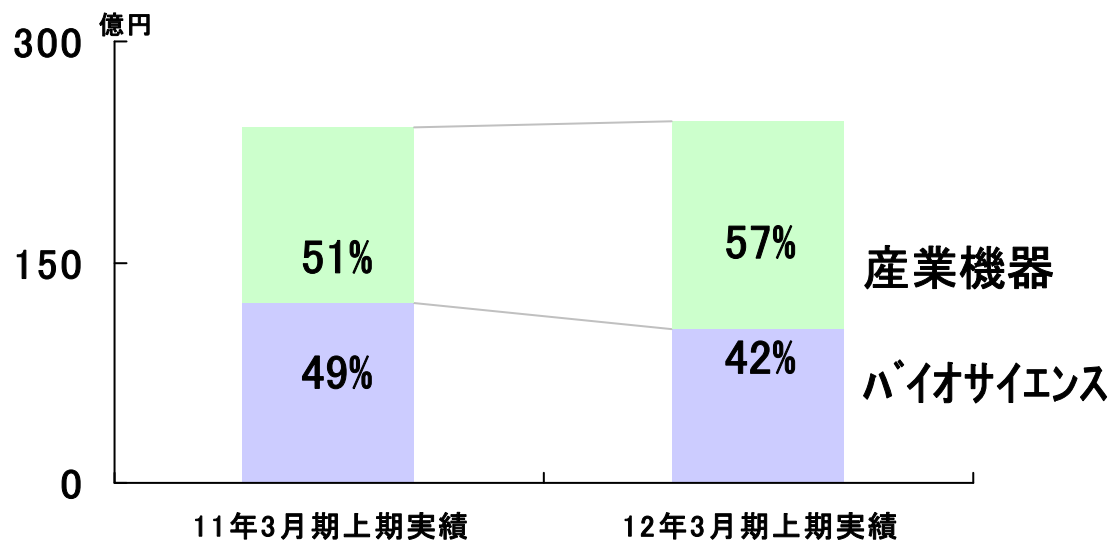
# 2012年3月期 上期 映像カンパニー

単位: 億円	11年3月期 上期実績	前回予想 (8/10)	12年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	2,818	3,100	3,245	+427	+145
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	223 (269) 7.9 % (9.5%)	420 13.5 %	474 14.6 %	+205	+54
デジタル 一眼レフカメラ	190万台	250万台	273万台	+ 83万台	+ 23万台
交換レンズ	295万本	350万本	393万本	+ 98万本	+ 43万本
コンパクト デジタルカメラ	670万台	750万台	786万台	+116万台	+ 36万台

一眼レフ・交換レンズは、好調な需要に応えることできた。コンパクトタイプは、市場がマイナス成長のなか、17%の販売台数増。一眼レフ・交換レンズ・コンパクトタイプともに、販売台数は上期の過去最高を更新。15%増収・76%増益

# 2012年3月期 上期 インストルメンツカンパニー

単位: 億円	11年3月期 上期実績	前回予想 (8/10)	12年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	242	270	246	+ 4	▲24
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	▲41 (▲34) — % ( — %)	▲20 — %	▲24 — %	+10	▲ 4



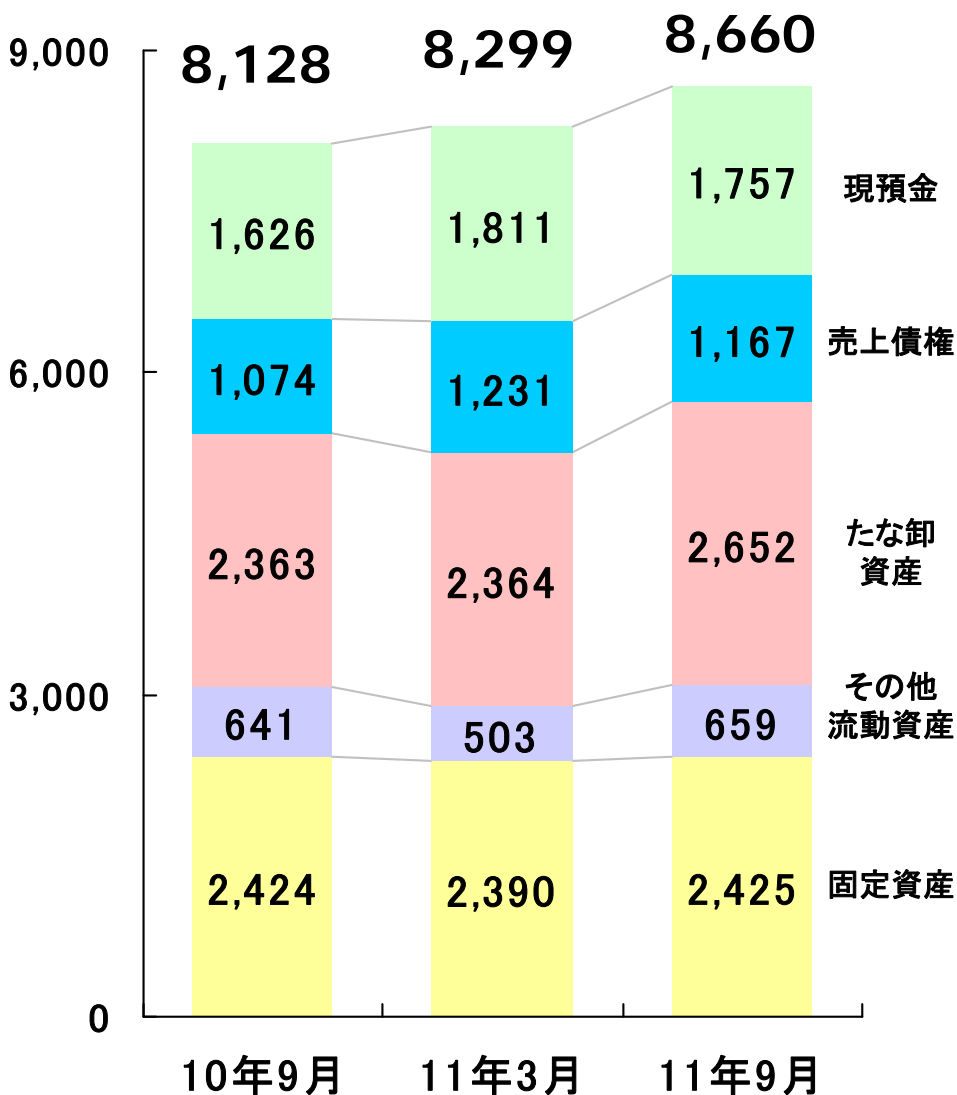
バイオサイエンス分野は減収、  
産業機器分野は増収、カンパ  
ニーでは前年並みの売上



# 2012年3月期 上期 B/S内訳

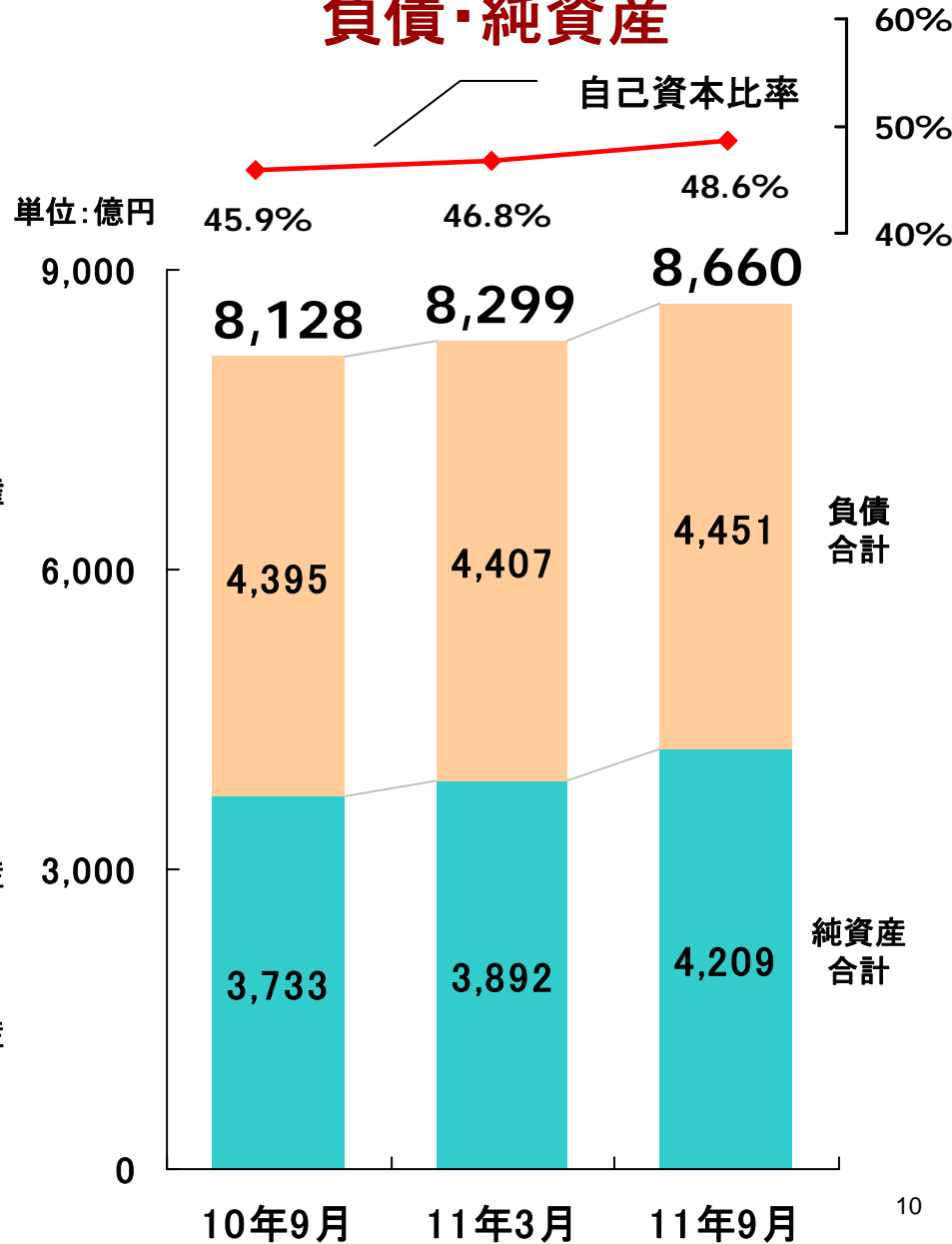
## 資産

単位: 億円



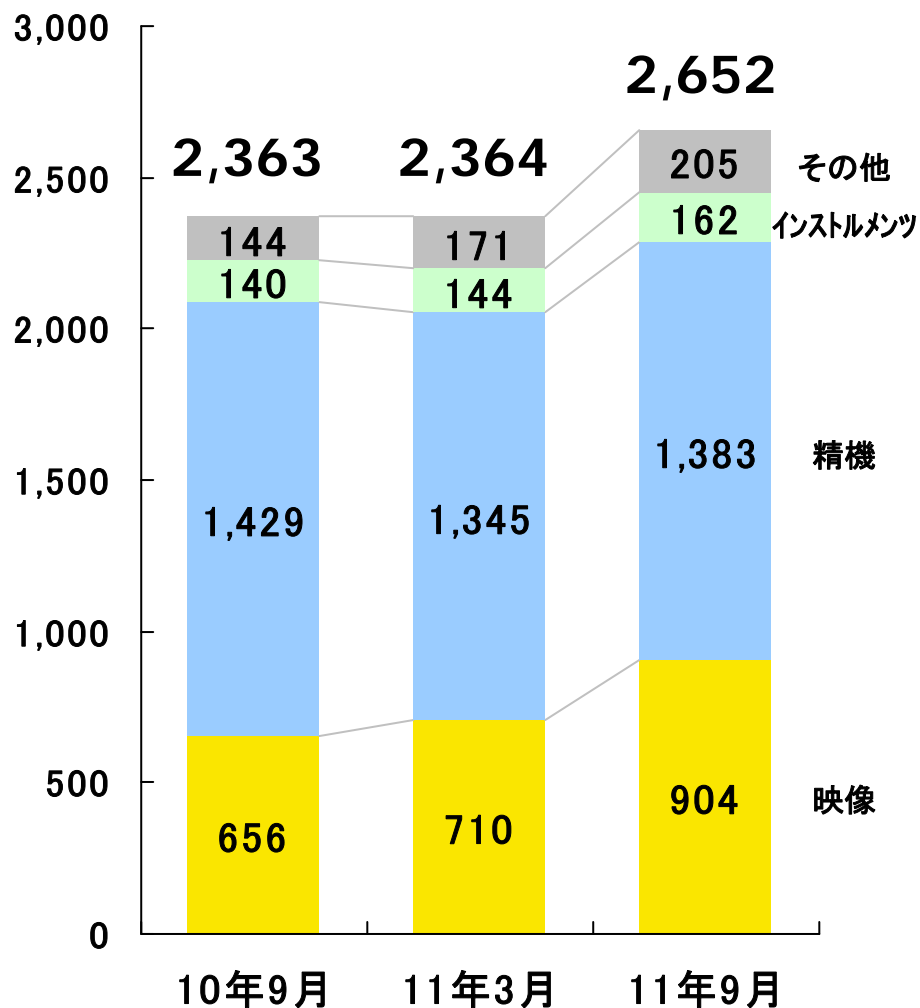
## 負債・純資産

単位: 億円



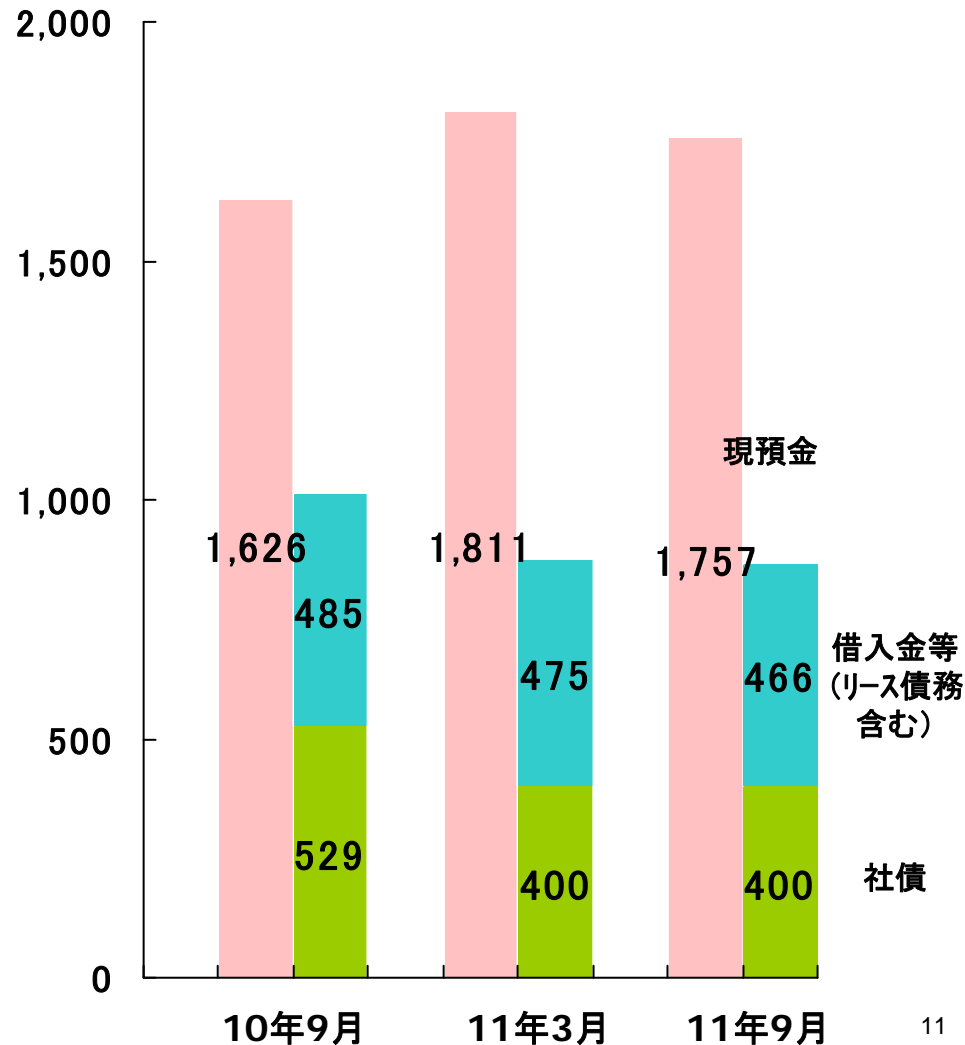
## 棚卸資産

単位：億円



## 現預金・有利子負債

単位：億円



## ◆ 前上期比、円高が進行するなか、全ての事業領域で増収。 全社では約2割増収、営業利益は約4倍

### 【精機】

- ・高精細中小型パネル向けに液晶露光装置の販売台数が大きく増加。  
 ArF液浸スキャナーの製品ミックスが新製品(S620D)にシフトしたことも  
 加わって、55%増収、大幅増益

### 【映像】

- ・15%の増収、76%の増益
- ・一眼レフ・交換レンズは、好調な需要に応えることができた
- ・コンパクトタイプは市場がマイナス成長のなか、17%の販売台数増

### 【インストルメンツ】

- ・産業機器分野はスマートフォン等の需要が堅調に推移したが、バイオ  
 サイエンス分野は各国の政府支出削減の影響を受け、全体では前年比  
 微増収、前回予想比では下振れ

## ◆ 中間配当金は 17円

# Agenda

- I. 2012年3月期 上期の概況
- II. 2012年3月期の見通し**
- III. 参考データ

## ◆ ニコンタイランド社の被害

- ・タイ中部アユタヤ県にあるニコンタイランド社が洪水による浸水被害を受け、10月6日より操業停止。11月4日現在、操業停止中
- ・ニコンタイランド社は、一眼レフカメラと交換レンズを生産

## ◆ 下期のレンズ交換式カメラ・交換レンズ販売台数見通しの前提

- ・2011年12月より、ニコングループの国内外の生産拠点およびタイ国内の協力工場で代替生産を開始。順次生産を増加
- ・ニコンタイランド社の操業再開は2012年1月を想定。順次生産を増加
- ・2012年3月末には、通常の生産量に戻す計画

## ◆ 上記生産・販売計画に基づく洪水影響額 (映像カンパニー、2012年3月期下期)

- ・売上高▲650億円、営業利益▲250億円

# 2012年3月期 見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/10)	上期 下期	12年3月期 見通し	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比	上期 下期
売上高	8,875	$\frac{3,980}{4,895}$	9,900	$\frac{4,750}{5,150}$	9,250	$\frac{4,863}{4,387}$	+375	▲ 650	$\frac{+ 113}{▲ 763}$
営業利益 売上高比	541 6.1 %	$\frac{152}{389}$	860 8.7 %	$\frac{460}{400}$	670 7.2 %	$\frac{612}{58}$	+129	▲ 190	$\frac{+ 152}{▲ 342}$
経常利益 売上高比	558 6.3 %	$\frac{178}{380}$	890 9.0 %	$\frac{480}{410}$	720 7.8 %	$\frac{652}{68}$	+162	▲ 170	$\frac{+ 172}{▲ 342}$
当期純利益 売上高比	273 3.1 %	$\frac{106}{167}$	600 6.1 %	$\frac{360}{240}$	550 5.9 %	$\frac{504}{46}$	+277	▲ 50	$\frac{+ 144}{▲ 194}$
FCF	1,000		600		300		▲700	▲ 300	—
為替:ドル	86円	$\frac{89円}{82円}$	80円	$\frac{81円}{80円}$	77円	$\frac{80円}{75円}$			
ユーロ	113円	$\frac{114円}{112円}$	112円	$\frac{114円}{110円}$	109円	$\frac{114円}{105円}$			

下期は、映像事業のタイ洪水影響に加え、米ドル・ユーロ前提をそれぞれ5円円高に変更。それでも通期では、前年比増収・増益の見通し

\* 前回予想とは2011年8月10日発表における予想です。

# 2012年3月期 見通し 精機カンパニー

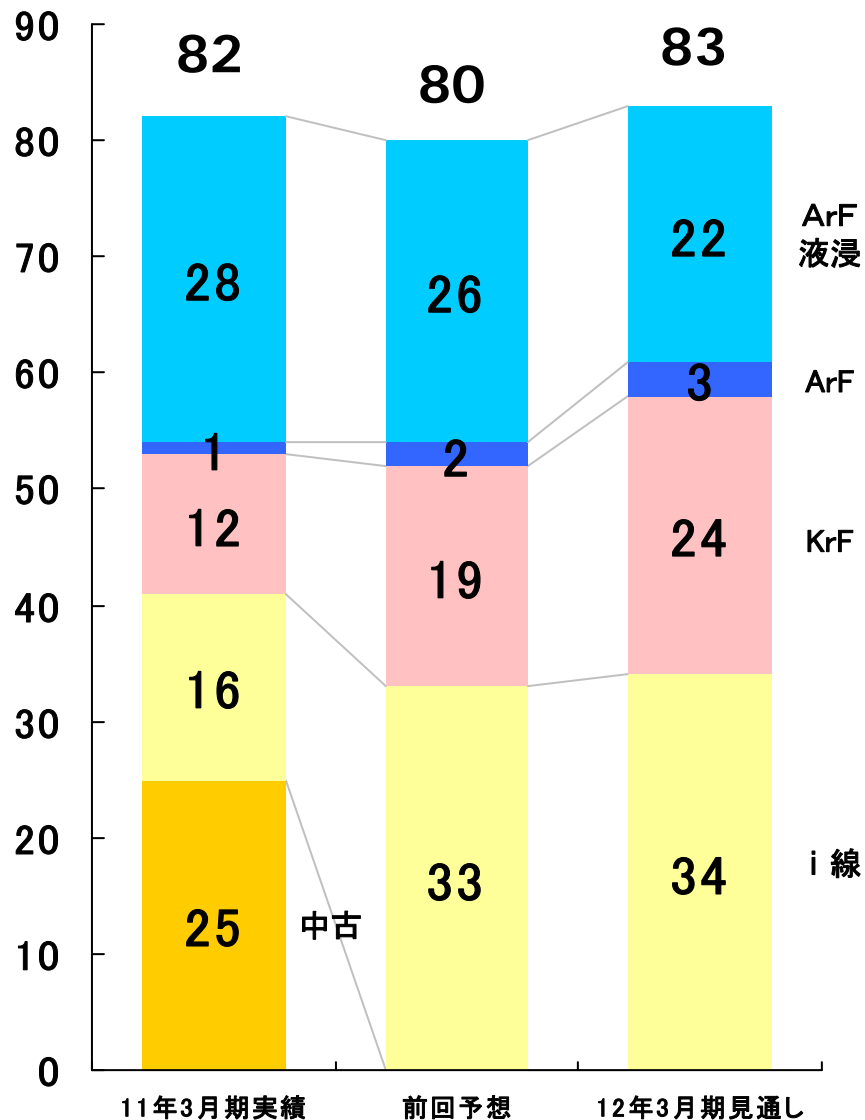
単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/10)	上期 下期	12年3月期 見通し	上期 下期
売上高	2,086	$\frac{807}{1,279}$	2,650	$\frac{1,300}{1,350}$	2,650	$\frac{1,248}{1,402}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	27(83) 1.3%(4.0%)	$\frac{\blacktriangle 47}{74}(\frac{\blacktriangle 20}{103})$	310 11.7%	$\frac{170}{140}$	370 14.0%	$\frac{233}{137}$
半導体露光装置 新品/中古	57/25台	$\frac{18/12}{39/13}$	60/20台	$\frac{25/13}{35/7}$	58/25台	$\frac{26/16}{32/9}$
液晶露光装置	57台	$\frac{23}{34}$	82台	$\frac{48}{34}$	85台	$\frac{48}{37}$
半導体露光装置 市場規模 CY10/11	228台		280台程度		280台程度	
液晶露光装置 市場規模 CY10/11	112台		120台程度		120台程度	

前年比27%増収、営業利益は4倍以上となる計画。半導体・液晶露光装置ともに前回予想に近い販売台数を確保。ArF液浸スキャナーの製造リードタイム短縮やコストダウンなどの諸施策が奏功し、営業利益は上振れ

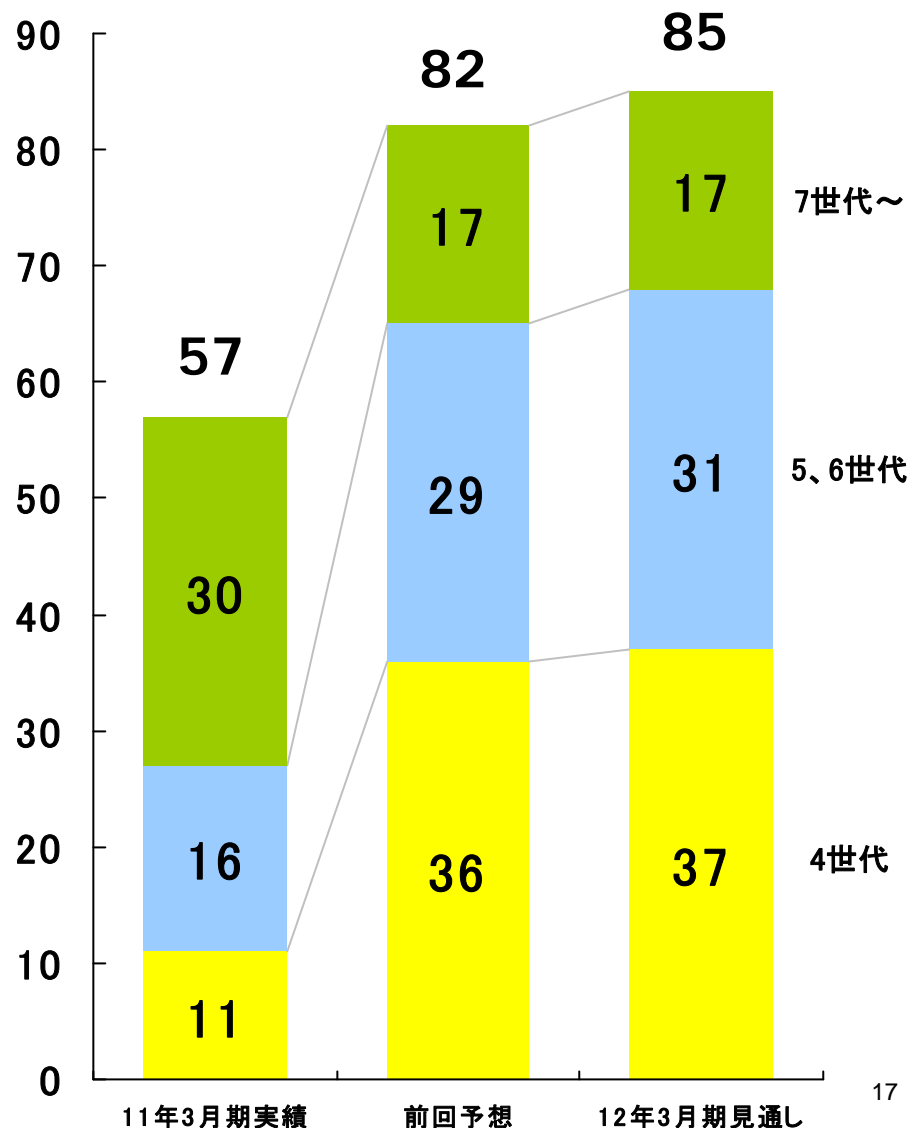
# 2012年3月期 見通し 精機カンパニー

## 半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



単位:台





# 2012年3月期 見通し 映像カンパニー

株式会社ニコン  
広報・IR部



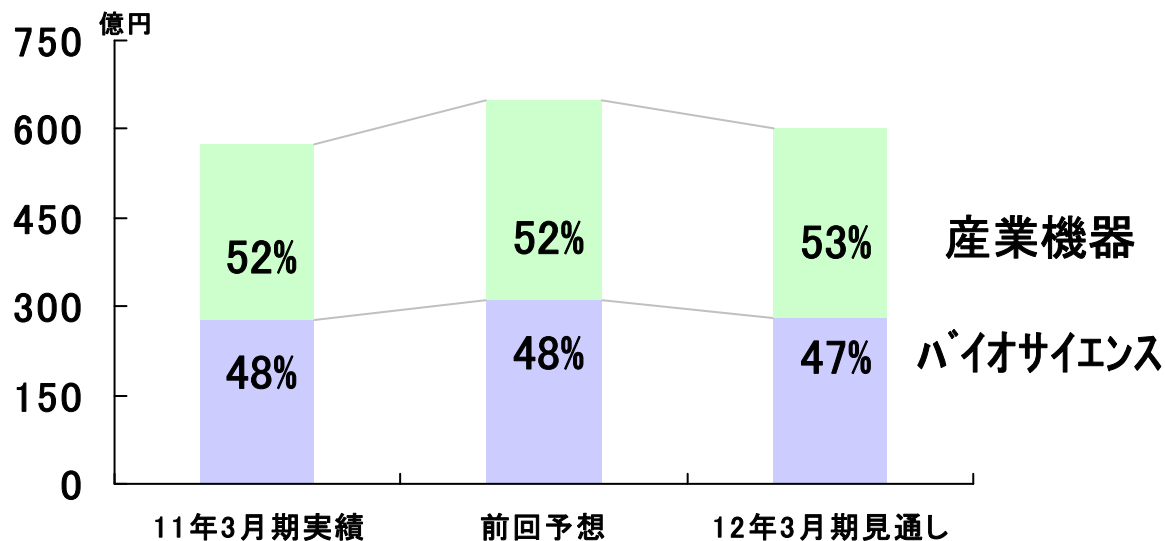
単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/10)	上期 下期	12年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,964	$\frac{2,818}{3,146}$	6,400	$\frac{3,100}{3,300}$	5,750	$\frac{3,245}{2,505}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	523(614) 8.8% (10.3%)	$\frac{223}{300}$ ( $\frac{269}{345}$ )	710 11.1%	$\frac{420}{290}$	480 8.3%	$\frac{474}{6}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	429万台	$\frac{190}{239}$	540万台	$\frac{250}{290}$	470万台	$\frac{273}{197}$
交換レンズ	636万本	$\frac{295}{341}$	760万本	$\frac{350}{410}$	670万本	$\frac{393}{277}$
コンパクト デジタルカメラ	1,426万台	$\frac{670}{756}$	1,550万台	$\frac{750}{800}$	1,600万台	$\frac{786}{814}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,414万台		1,600万台		1,500万台	
交換レンズ 市場規模	2,327万本		2,600万本		2,500万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	10,741万台		10,000万台		10,000万台	

タイ洪水の影響は大きいですが、ニコングループの総力をあげて被害を最小限にとどめる

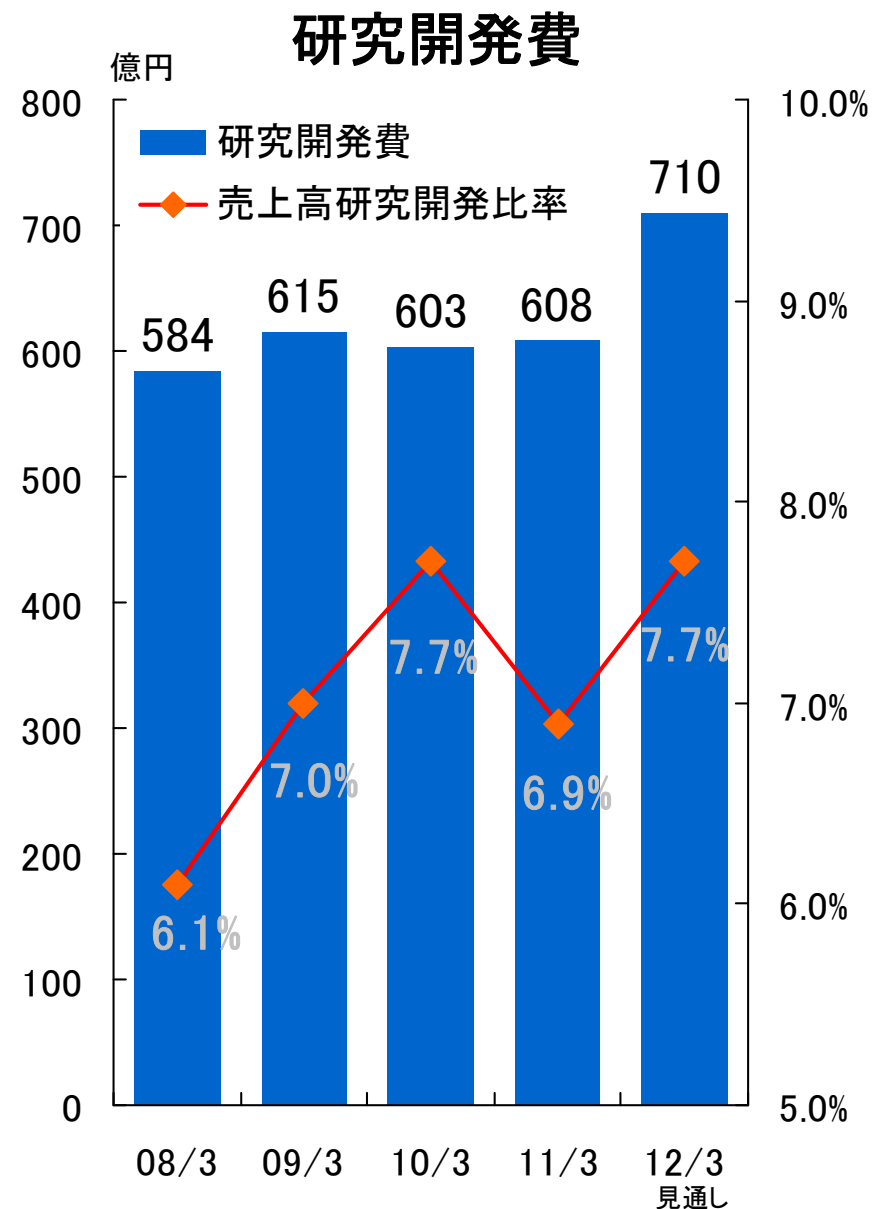
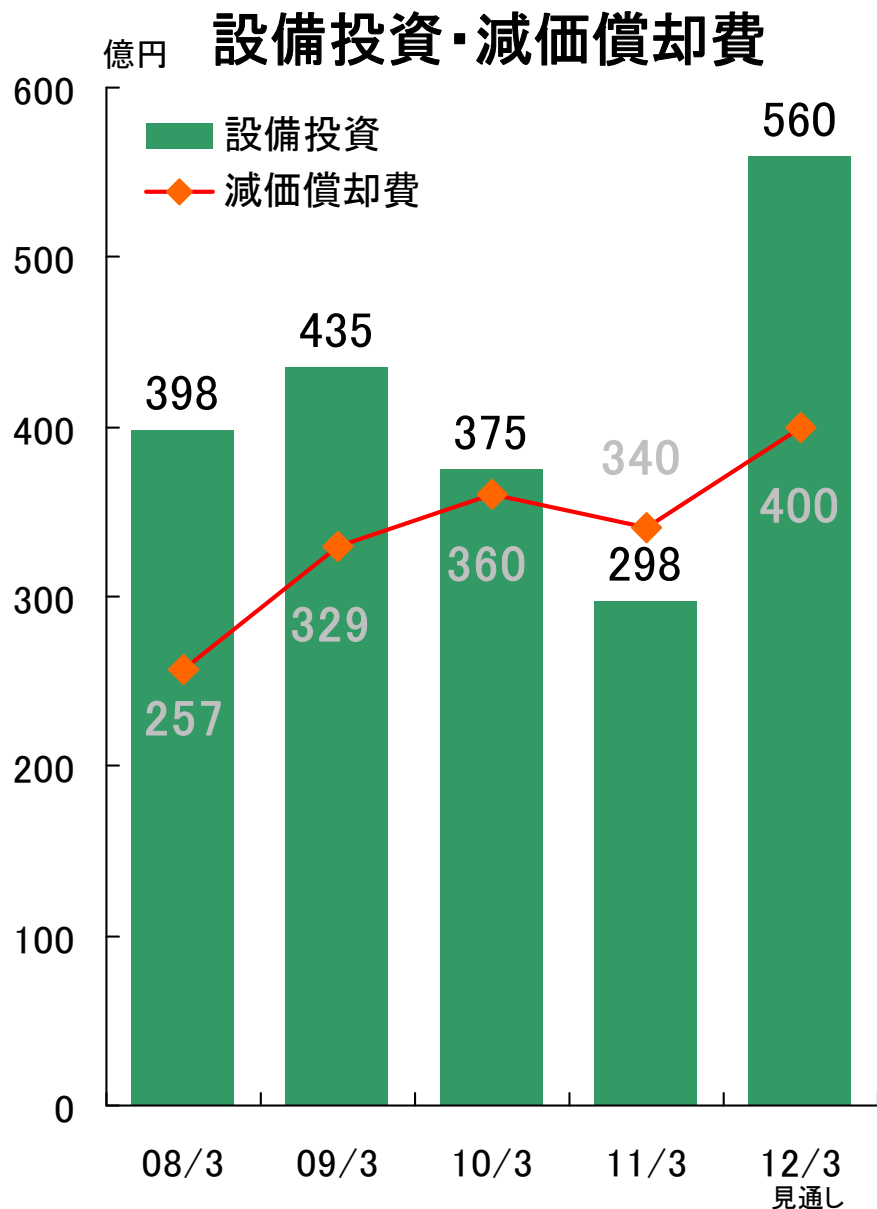
注) 10月に発売した「Nikon 1(ワ)」は、今回から「レンズ交換式デジタルカメラ」の台数に含む。市場規模には従来より織り込んでいる

# 2012年3月期 見通し インストルメンツカンパニー

単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/10)	上期 下期	12年3月期 見通し	上期 下期
売上高	575	$\frac{242}{333}$	650	$\frac{270}{380}$	600	$\frac{246}{354}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	▲52(▲38) — % (— %)	$\frac{▲41}{▲11}$ ( $\frac{▲34}{▲4}$ )	5 0.8 %	$\frac{▲20}{25}$	▲20 — %	$\frac{▲24}{4}$



下期は産業機器分野が  
半導体・電子部品向け  
設備投資抑制の影響を  
受ける



注)09/3以降には、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。

# 2012年3月期 見通し まとめ

- ◆ 映像事業のタイ洪水被害により、通期の業績予想を下方修正するが、前年比では増収・増益の計画

## 【精機】

- ・27%増収、営業利益は4倍以上となる見通し
- ・リードタイム短縮やコストダウンの成果が着実に表れてきた

## 【映像】

- ・一眼レフと交換レンズの生産を順次回復させ、2012年3月末には通常の生産量に戻す計画
- ・10月に発売し好評を得ている「Nikon 1(ワン)」の販売に注力
- ・コンパクトタイプは競争力が高まり、販売好調

## 【インストルメンツ】

- ・バイオサイエンス分野は各国の政府支出削減、産業機器分野は半導体等向けの設備投資抑制の影響を受け、売上高と営業利益を下方修正

- ◆ 下期の米ドル・ユーロの為替前提をそれぞれ5円円高に変更
- ◆ 年間配当金 34円の予定は据え置く

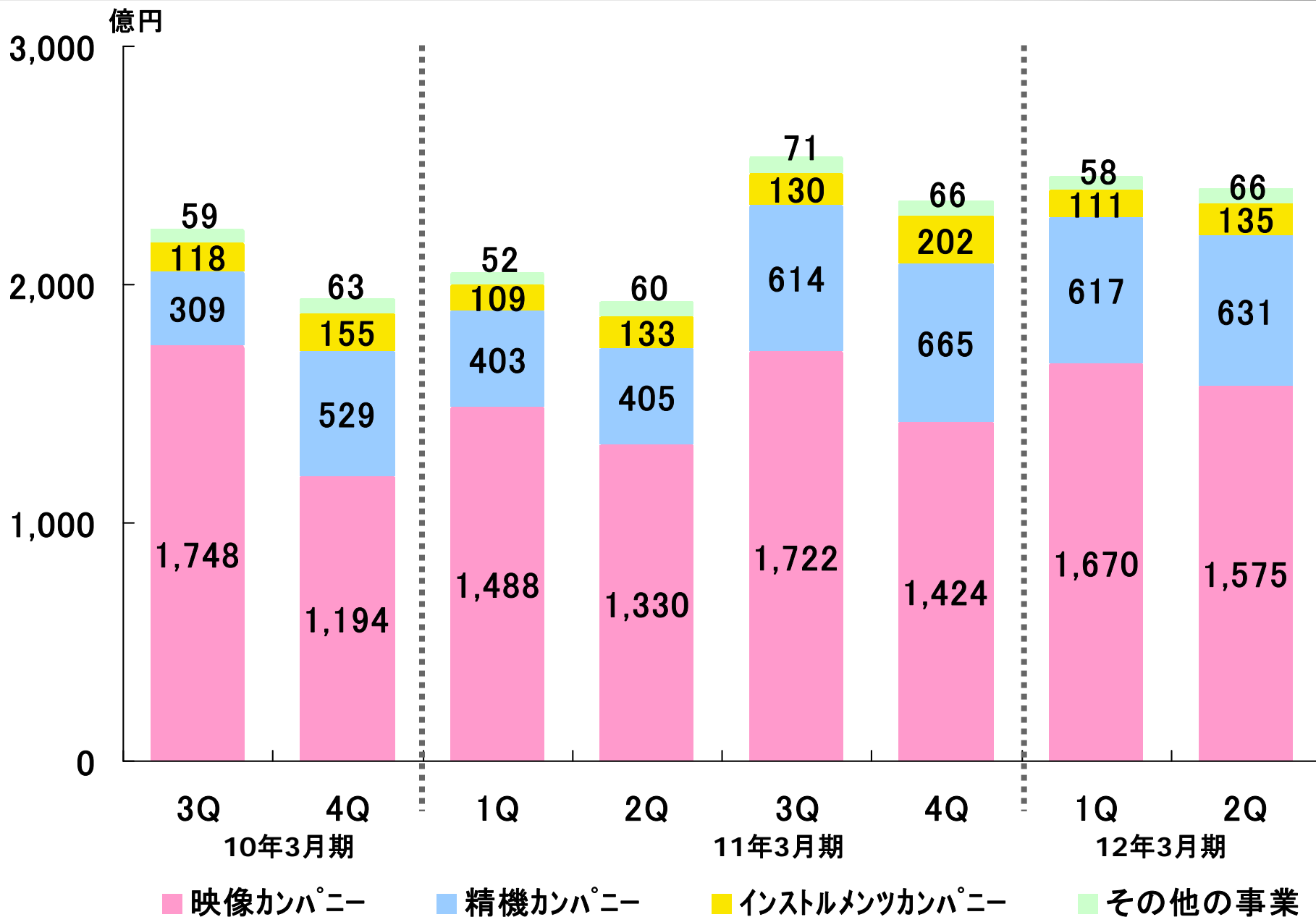
# Agenda

- I. 2012年3月期 第1四半期の概況
- II. 2012年3月期の見通し
- III. 参考データ**

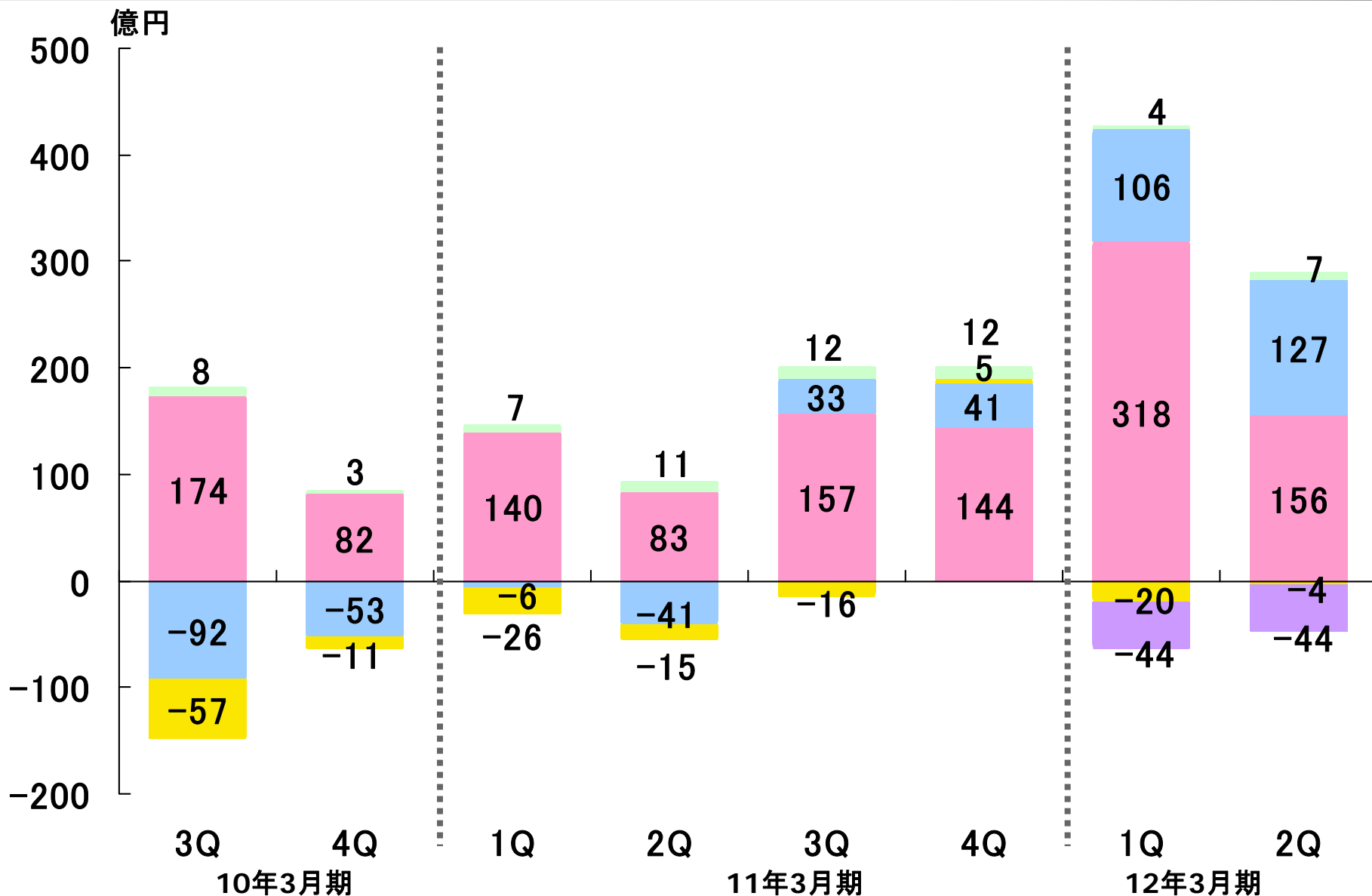
## 2012年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	12年3月期 下期前提	売上高 下期	営業利益 下期
USドル	75円	約 27億円	約 4億円
ユーロ	105円	約 8億円	約 5億円

# 参考データ 四半期セグメント別売上高推移



# 参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インスツルメンツカンパニー ■ その他の事業 ■ 全社費用





**NIKON CORPORATION**